

Maki Ohkojima

大小島 真木 個展

「鳥よ、僕の骨で大地の歌を鳴らして。」
Birds, sing the songs of the earth, through my bones.

2015年11月12日(木) - 12月17日(木) 第一生命ギャラリー

November 12 --- December 17, 2015

第一生命は、企業メセナ活動の一環として、現代美術の展覧会「VOCA(ヴォーカ)展(The Vision of Contemporary Art)-現代美術の展望」の受賞作品を所蔵し、第一生命ギャラリーで常設展として公開しております。また、年に数回、VOCA展受賞作家の個展を開催し、作家の方には発表の場を、一般の方々には現代美術鑑賞の場をご提供しています。

今回は「VOCA展2014」VOCA奨励賞受賞者、大小島真木(おおこじままき)の個展を開催致します。大小島真木は、描くことを通じて自身の中に生まれる物語を追求しながら制作を重ねています。今回の展覧会では、自然界で行われている生命の循環の物語を、絵画やスライド映像らを通して発表致します。是非ご高覧下さい。



大小島真木《世界に見られている。/ World is looking at me.》2015、パネルに紙、鉛筆、アクリル、size 182×242cm

—作品について—

《個の生命が終わり、鳥が迎えに来る。鳥によって分解された身体は森に食べられる。森が僕を苗床にし、僕は木になる。心臓が鼓動する》 —「鳥よ、僕の骨で大地の歌を鳴らして。」より

森では、木は密やかに倒れ、命を終えた木を苗床に、また新しい木が上に大きく育っている。動物の身体は、他の野生動物や虫に喰われ、その後、微生物によって分解され、土に戻っていく。人間もまた動植物同様、生と死の輪によってできる生命の連鎖の中に生きている。

生命体が、個を超えて大きな流れの一部であることを意識する。この循環をほんとうの意味で想像できたとき、山、川、風、火、土といった森羅万象は、自らの体内に臓器のようにあるものではなかったか。

大小島 真木 (Ohkojima Maki) 略歴

1987年東京都生まれ。2011年女子美術大学大学院修士課程修了。

ポーランド、メキシコ、インドでの滞在制作を経て、近年は、「遺伝子の地図」(VOLCANOISE 東京、2013)、「wild light」(伊勢丹新宿、東京、2014)などの個展を開催。「島からのまなざし」(東京都美術館、2014)「VOCA展」(上野の森美術館、東京、2014)をはじめとするグループ展にも多数参加。

※2015年は本個展に加え、南沢氷川神社拝殿(東京・東久留米)での天井画プロジェクト等を予定しています。

詳しくは大小島真木HPを参照ください。http://www.ohkojima.com/

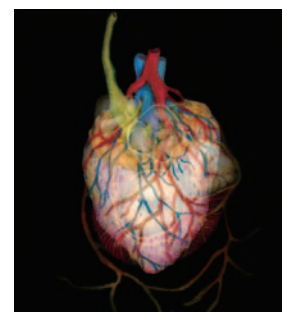
【主な受賞歴】2009年ワンダーウォール賞、2014年VOCA奨励賞、TERADA AWARD賞



2.



3.



4.

「大小島真木展」開催概要

■名称：大小島 真木展「鳥よ、僕の骨で大地の歌を鳴らして。」

Birds, sing the songs of the earth, through my bones.

■会場：第一生命ギャラリー

〒100-8411

東京都千代田区有楽町1-13-1 DNタワー21 第一生命本館1F

■会期：2015年11月12日(木)～12月17日(木)

■開館時間：12:00～17:00

■休館日：土・日・祝日

■入場料：無料

■オープニングレセプション & アーティストによるギャラリーツアー

11月12日(木) 17:00～19:00 ツアータイム：18:00～18:30

お問い合わせ、画像データご希望の場合は下記までお願いいたします。

また、当ギャラリーをご取材いただける場合はご一報ください。

第一生命保険株式会社

DSR推進室担当 露木・中村

TEL.050-3780-5776

FAX.03-5221-3340

(〒100-8411 東京都千代田区有楽町1-13-1)

2.
《森に食べられる》
“Forest eats me.”
2015
アルシュ紙に鉛筆、アクリル
連作より
各 size 57.3×76.7cm

3.
世界に見られている、
インスタレーション素材
Wings
2015
革やキャンバスにアクリル。
サイズ可変

4.
《heart beating》
2015
スライドプロジェクト映像
about 10min

©クレジット

Edit : Yoko Kawamura

http://minowa-undo.tumblr.com

Art direction & Design : Nao Nozawa
http://www.naonozawa.com

Slides engineering: Serge Koutchinsky

Exhibition design :
Sawada Hashimura studio
http://sawadahashimura.jp